

JSPRS関西支部の活動と技術者教育 とのかかわり



(株)パスコ 研究開発センター

日本写真測量学会関西支部副支部長

吉村充則

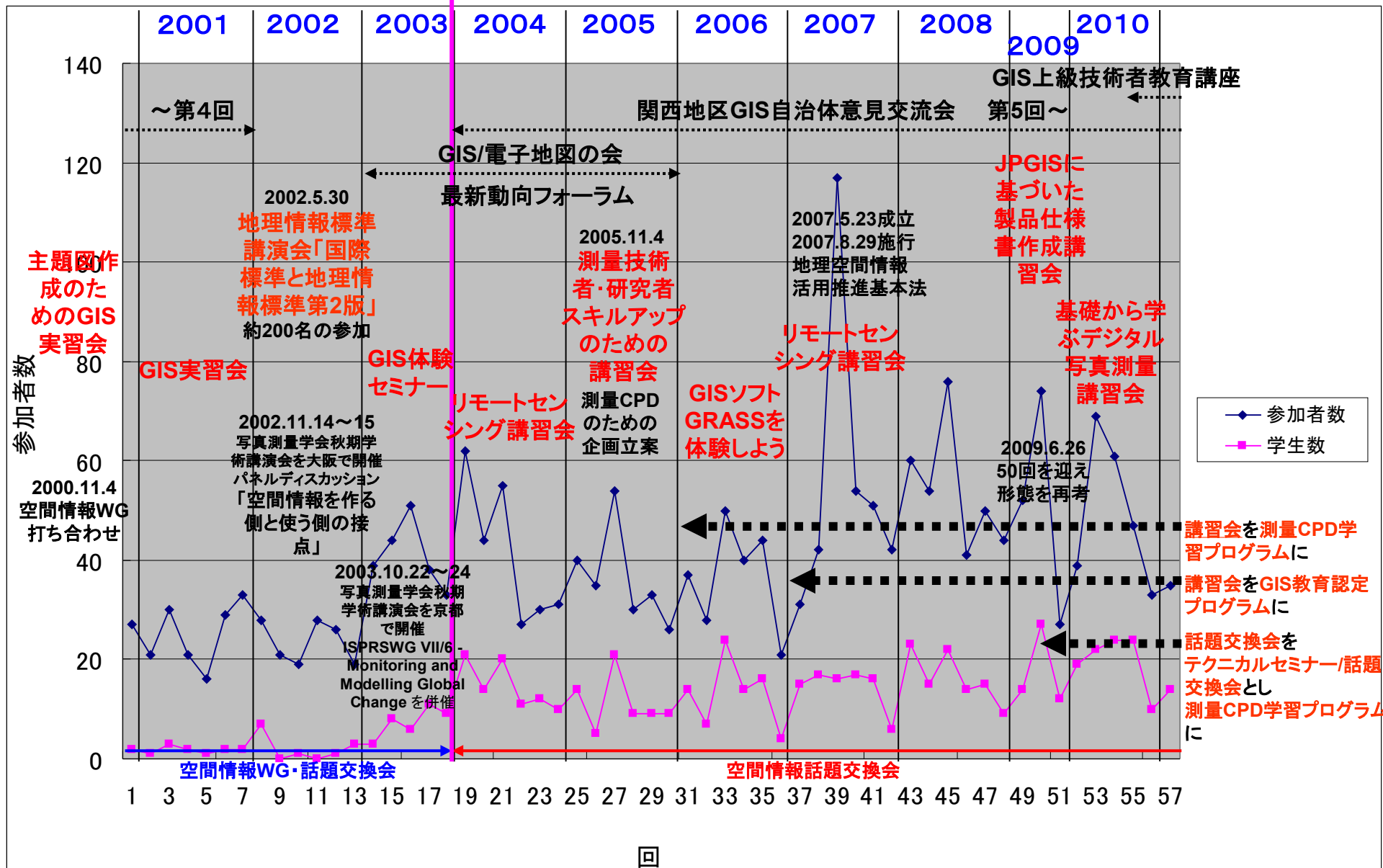


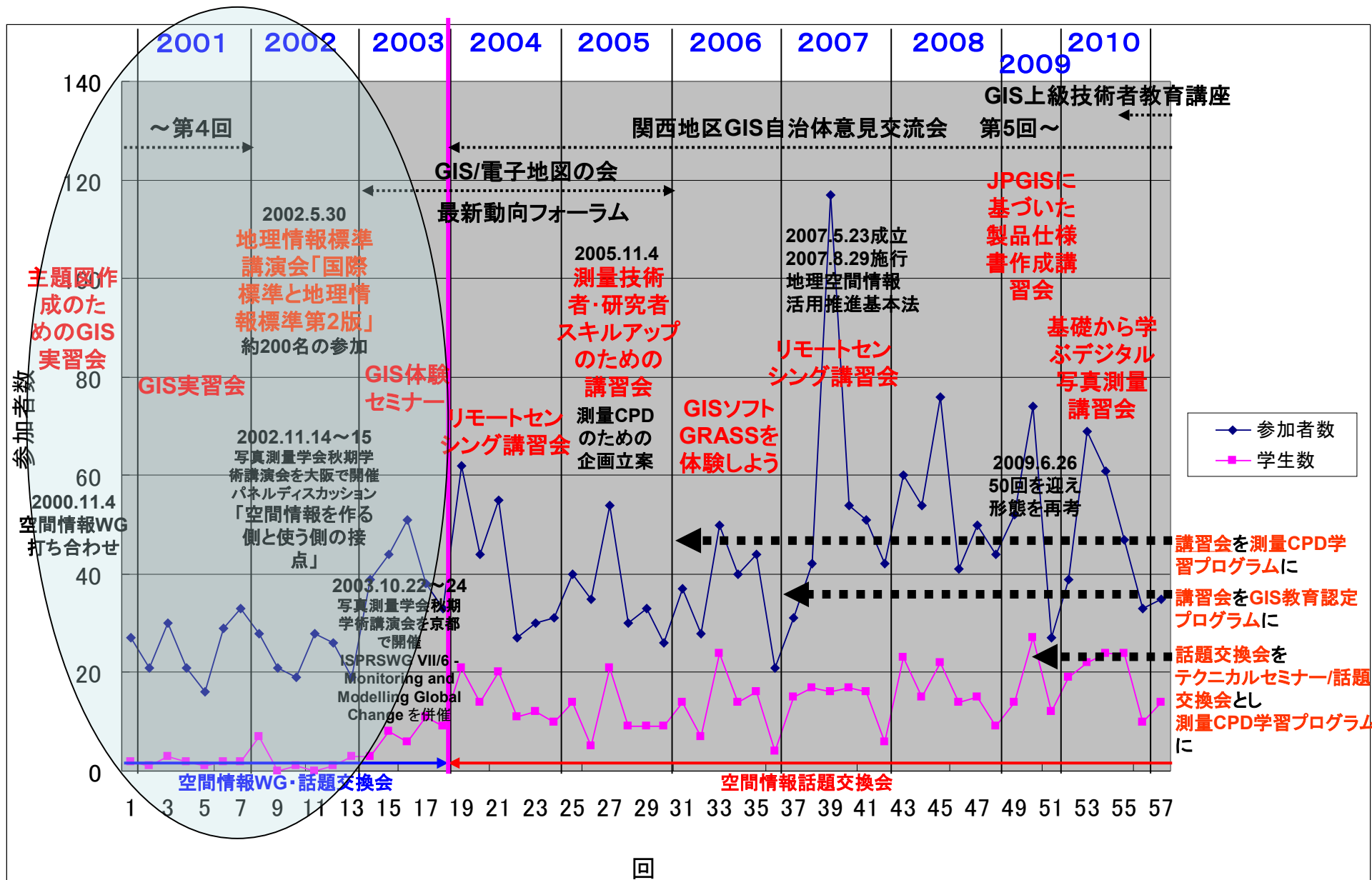
JSPRS関西支部の主な活動

Japan Society of Photogrammetry and Remote Sensing

- 「空間情報に関する普及活動」をメインテーマとし、近畿・四国・中国圏の会員、および支部の行事に興味を持つ方どなたでも参加が可能
- テクニカルセミナー/話題交換会
(偶数月夕方・常翔学園大阪センター)を開催
- 特別講演会を開催(年1回)
- 若手技術者・研究者による技術研究発表会
(年1回・今年度から実施形態変更予定)
- 講習会を開催(年1回程度)

関西地区における空間情報関連行事の変遷と 空間情報話題交換会における参加者数の推移





当初考えた空間情報WG・話題交換会の方向付け

空間情報の計測と利用を取り巻く技術に関連する話題の情報交換を図ることをWGの目的とする。**分野は広く、話題は深く**、をモットーにする。1回の話題提供者は、基本的にひとりとし、提供する話題からできる限り多くの情報交換が行えるような会とする。話題提供及び討論、情報交換を主な内容とする情報交換会開催をWGで主催する。

運営方法

コアメンバーを中心として話題提供者を決める。毎回の主担当を持ち回りとする。数回先までの会を仮決定しておく。会の頻度は、**2ヶ月に1度か、3ヶ月に1度か？**

定例会として定着させていきたい。

12月8日第1回の準備

今回のみメールと郵送の2つでアピールする。秋学会会場で案内配布。GIS実習会参加者にメールで通知。できれば、自治体の方々を呼べないか？

次回から**すべてメールとWebで処理**していく。**毎回参加者リストをまとめ、メールアドレスをまとめ**ていき、**情報発信**に使う。

当初議論した運営方針

- 話題交換会と懇親会をセットで
- 勤務時間終了後(微妙?)に参加できるように
- 誰かを血祭りにあげて、本音を語ろう(飲みながら)
- 開催日を固定したほうが定着し易い
- 場所も固定したほうが定着し易い

空間情報ワーキンググループ(空間情報 WG)の結成と話題交換会のご案内

(社)日本写真測量学会は、一つの物体から地球に至るさまざまなものを対象とし、その位置・形状および特性とその変動に関する情報を計測し利用するための技術・科学について、学術の振興に寄与することを、その使命として掲げています。本年度より「空間情報の計測と利用」を新たな旗印として活動しております。これには、写真測量・画像計測・リモートセンシング・地理情報システム(GIS)・汎地球航法衛星システム(GNSS)などが含まれます。

同学会関西支部においては、これまで春に講演会を開催するなどの活動を行ってまいりました。本年夏にはこれに加えて支部では初めて GIS 実習会を開催し、空間情報に関する普及啓蒙活動を始めました。参加者の皆様からの評判も上々で、新たな流れを感じざるを得ません。

このような状況から、支部では、産官学の垣根にとらわれない新たな活動を模索すべく、標記ワーキンググループを結成することとなりました。まったく新たなグループですので、空間情報に関連するより多くの皆様の意見を取り入れ、運営していきたいと考えております。

つきましては、結成にあたりまして第一回のワーキンググループ会議と話題交換会を下記要領で開催します。「空間情報の計測と利用」に興味をお持ちのより多くの方々の参加をお待ちいたしておりますので、皆様、是非会場に足をお運びいただけますよう重ねてお願い申し上げます。

記

開催日時：2000年12月8日(金曜日) 16:30～18:30

会 場：摂南大学寝屋川学舎 7号館 7階第3会議室

正門から示される順路に従ってください(寝屋川市池田中町 17-8)

プログラム：16:30～16:50 ワーキンググループ趣旨説明

16:50～17:50 話題提供と質疑応答・討論

熱帯林の環境調査における空間情報計測と利用の試み

京都大学東南アジア研究センター 吉村充則

17:50～18:30 今後の WG 活動方針について

終了後、話題交換サロンを計画しています。

以上

参加申し込みは、①ご氏名、②ご所属、③連絡先(メールアドレス)、④話題交換サロンへの出席を明記の上、写真測量学会関西支部(jsprs-w@sokuryo.t.u-tokyo.ac.jp)まで電子メールでお願いいたします。なお、開催の都合上、申込期限を2000年11月30日(木)までとさせていただきます。



摂南大学寝屋川学舎へは
京阪本線「寝屋川市」駅から京阪バスに乗り(西3番乗り場)し約15分、「摂南大学」下車

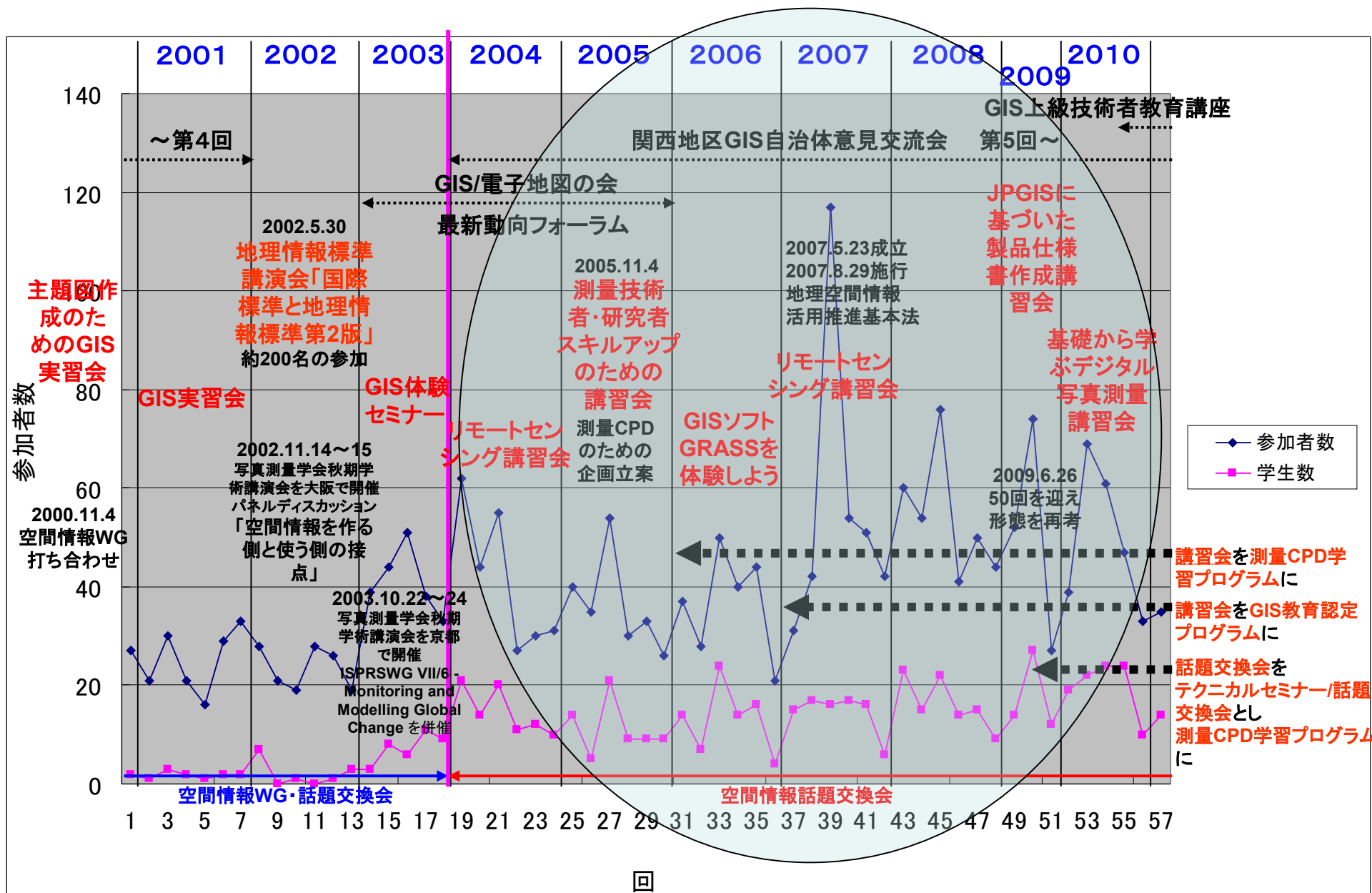
*京阪本線「寝屋川市」駅には、「急行」が停車します。

*京阪バスは駅から15分間隔で運行しています。

当日の連絡及び問い合わせ先：摂南大学工学部土木工学科

熊谷樹一郎

電話:072-839-9122 FAX:072-838-6599



話題交換会の位置づけ

有志メンバーによる空間情報WGから支部主要行事へ
旧支部ホームページより

関西支部においては、これまで春に講演会を開催するなどの活動を行ってまいりました。**2000年夏**にはこれに加えて**支部では初めてGIS実習会**を開催し、**空間情報に関する普及啓蒙活動**を始めました。参加者の皆様からの評判も上々で、新たな流れを感じざるを得ません。このような状況から、支部では、産官学の垣根にとらわれない新たな活動を模索すべく、**2000年11月にワーキンググループを結成**し、空間情報に関連するより多くの皆様の意見を取りいれ、まったく新たなワーキンググループとして支部活動の一躍を担いながら運営してまいりました。

2004年4月からは、これまでの空間情報ワーキンググループを発展的に解消し、**主要な支部活動**として位置づけることとしました。

このような経緯から、「空間情報の計測と利用」に興味を持つ皆様に、各**偶数月の最終金曜日夕方**にお集まりいただき、お一人ないしお二人から空間情報に関連した話題を提供いただく「**空間情報話題交換会**」を開催しています。

現在支部活動に求められているもの

- 測量CPD(Continuing Professional Development)認定学習プログラム

現在では、講習会だけでなくテクニカルセミナー/空間情報話題交換会(特別講演会・拡大版話題交換会)についても「日本写真測量学会講習会等の受講」に該当(測量系CPD協議会)

- GIS教育認定

GIS上級技術者の貢献達成度ポイント付与(GIS学会)

特に写真測量学会との関わりの深い測量CPDについて改めて考える！

CPDの背景：技術者の技術力評価

技術力：各人の知識と経験に支えられる

知識：学校教育による学歴と各種資格取得、実社会に出てからの自己研鑽による学習等で培われ

経験：実社会における実務経験によって培われる

継続学習

(測量CPD)

技術力

資格取得

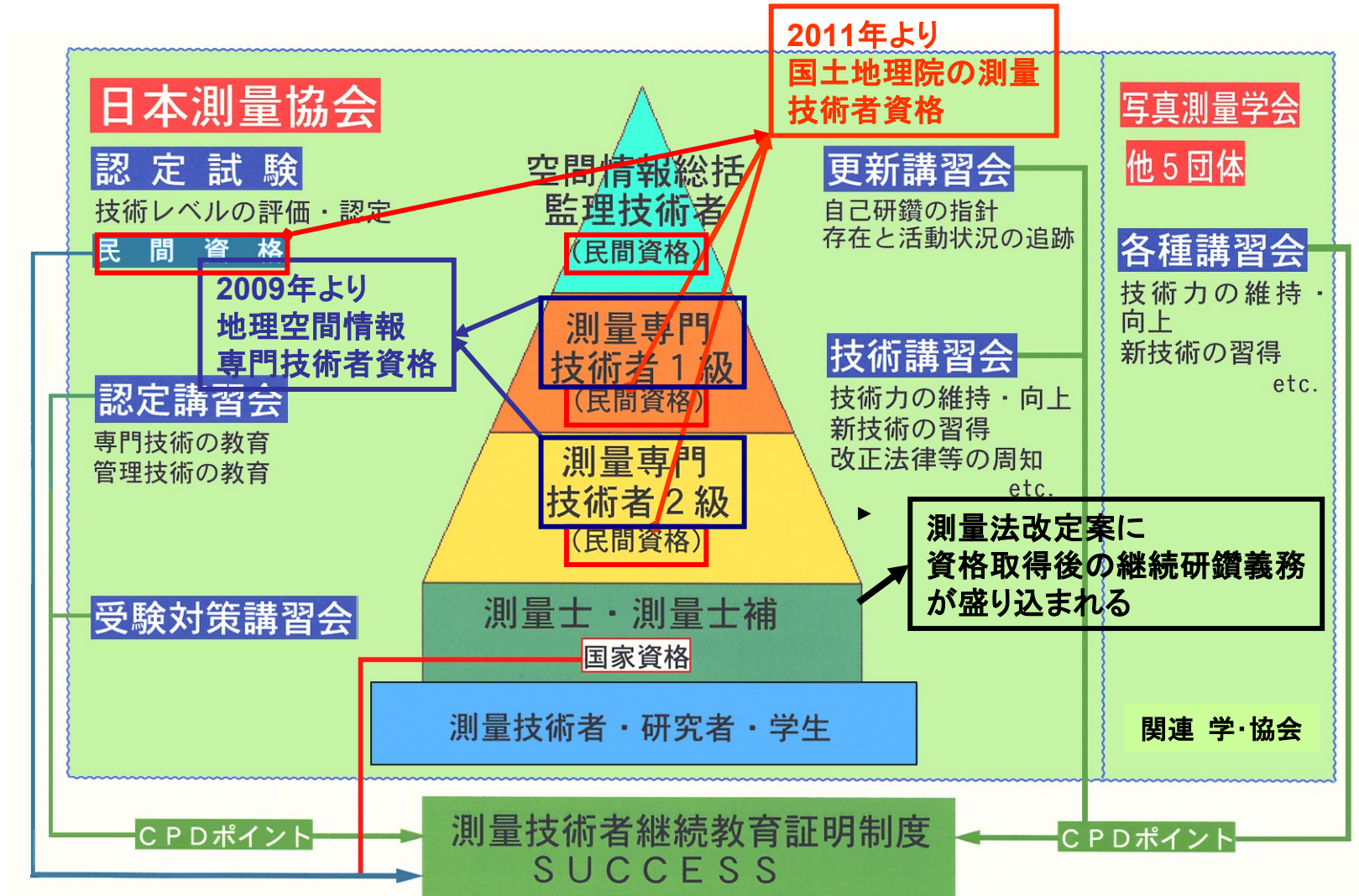
(学歴・資格証明書)

実務経験

(TECRIS)

測量CPD制度(月刊「測量」Vol.54 No.12より抜粋引用)

CPDをとりまく現状：測量技術者の继续教育体系



測量技術者・研究者スキルアップのための講習会(2005.11.4)¹¹
「測量技術者の继续教育(CPD)のあり方(小野邦彦)」資料に加筆

測量継続教育CPD制度

1. CPDとは？

Continuing Professional Development
＝継続的専門能力開発＝継続教育

2. 目的

- 1) 努力する測量技術者の評価(社会的地位の向上)
- 2) 測量技術者の技術レベルの維持向上(品質の確保)
- 3) 測量技術の体系的学習(総合的自己啓発の推進)

測量CPD制度(月刊「測量」Vol.54 No.12より抜粋引用)

測量CPDの現状

1. 測量CPD学習履歴台帳登録申請の状況

個人数

2004年10月18日現在 3,521名

2011年 3月31日現在 13,679名

技術者登録会社数(測量設計会社のみ)

2011年 3月31日現在 2,581社

2. 学習履歴登録の状況

2011年3月31日現在 32,632件(H17年5月からの延数)

3. 学習履歴証明書発行の状況

2011年3月31日現在 175件407名(前年度145件 215名)

「測量CPD」登録等の現状(平成23年3月末)を引用」

平成22年度測量CPD学習プログラム

社団法人 日本測量協会	161本
財団法人 日本測量調査技術協会	10本
財団法人 日本地図センター	6本
財団法人 測量専門教育センター	0本
社団法人 日本地図調製業協会	4本
財団法人 日本建設情報総合センター	4本
社団法人 全国測量設計業協会連合会	148本
社団法人 日本国土調査測量協会	13本
日本測地学会	7本
社団法人 日本写真測量学会	5本
日本国際地図学会	2本

日本写真測量学会学習プログラムの単位認定

- 1) 学会誌の購読: 5ポイント／年
- 2) 学会誌への原著論文の執筆: 2～5ポイント／件
- 3) 学会誌への技術報告等の執筆: 1～3ポイント／件
- 4) 年次学術講演会での口頭発表: 2ポイント／件
- 5) 講習会等の受講: 1ポイント／時間
- 6) 講習会等の講師: 3ポイント／時間
- 7) 学会編技術図書の執筆: 2～10ポイント／件
- 8) 学会における受賞: 2～6ポイント／件
- 9) 「空間情報技術の応用」の自己学習: 4ポイント／件

1 年20ポイント目標

推奨ポイント数は5年間(100ポイント)